

挑まなければ見えない景色を見てみよう

校長 大岩 厚

「新年おめでとう。いい天気になったね。この景色のように今年が良い年になるよ。」40年近く前、高知県と徳島県の県境にある山の上で見た景色が、今でも鮮やかに思い出されます。

その年の大晦日は、寒冷前線の通過に伴い荒れた天候になり、その後回復するという天気予報でした。四国に住んでいた私は、標高1,894mの三嶺という山で新年を迎えるべく、登山の経験が豊富な友人と冬山装備で登山に挑みました。

夏に数回、冬にも一度登った山で、通常なら登山口から4時間程度で登れる山ですが、この日は雪が降り続き、山の中腹からは積もった雪が膝上まで達していました。雪の中に道を作りながら一步一步登ることになり、時間も体力も大きく浪費し、山頂に通じる尾根に出た時には体力も限界に近づき、さらに風雪が激しくなりました。

山頂は広い台地になっていて、そこから10分も下れば安心して宿泊できる山小屋があります。ところが、山頂に向かって歩いているうちに、雪嵐のため視界が真っ白になり、ほとんど周囲の景色が見えなくなるホワイトアウトという状態になりました。山頂付近には着いたものの、下りの道を探すことができなくなり、友人と私はそれ以上進むことを諦め、テントを張ってピバーク（緊急避難）する決断をしました。足下の雪を踏み固め、風にあおられながら何とかテントを張り、コンロで湯を沸かし、カップスープを飲んでホッと一息。お互い顔を見合わせながらやっと落ち着いて会話ができました。「危なかったね。遭難する一歩手前だった。」テントの外では風がうなっていました。夕食を食べて体を温め、寝袋に入ると、疲れのためかすっと眠りにつきました。

翌朝、明るい光で目が覚め、テントから出ると、昨夜の嵐がうそのような快晴。澄んだ青空と遠くに雪を抱いた山並み、すぐ目の下には山小屋の赤い屋根。そこで、友人と新年の挨拶を交わしました。

私達は人生の歩みを進めるとき、いろいろな試練に出会います。それを乗り越えるために、自分には何ができるのか、何が必要なのかをいろいろな経験から学びますが、挑んでみて初めて出会う景色があります。一歩前に踏み出す、そんな一年でありたいと願います。

クリスマス礼拝、祝福のうちに

12月20日（月）本年度のクリスマス礼拝が行われました。チャペルのアドヴェントクラウンには4本のろうそくに火が灯され、高校1年生が入場、他学年は電子黒板やモニターを利用してのリモート参加でした。聖書はルカによる福音書2章8～20節が朗読されました。ハンドベル部によるトーンチャイムによって「きよしこのよる」の演奏があり、活水学院理事長の深澤奨先生が、栗原貞子さんの詩「生ましめんかな」の紹介、家畜小屋にお生まれになったイエス・キリストと羊飼いの物語、RADWIMPSの「大丈夫」の弾き語りによって、クリスマスのメッセージをお伝えくださいました。全校一人ひとりが献金したクリスマス献金も宗教委員によって捧げられました。救い主誕生の喜びと祝福の礼拝でした。



（文責：石村直義）

クリスマスカードに感謝

毎年、県内外の福祉施設や同窓生、また元職員の方々からクリスマスカードをお送りしています。これは「活ける水を自分だけに留めることなく、他へ分かち合う」活水精神に基づいているものです。先日、福祉施設の方から、利用者の方が毎年クリスマスカードをととても楽しみにしてくださっていて、枕元に飾られている方がたくさんいらっしゃるという連絡がありました。今年もクリスマスカードを通して、共にクリスマスをお祝いできることに感謝いたします。（文責：奥田牧子）



アドベントコンサート

12月16日（木）、音楽コースⅢ年生、Ⅱ年生によるアドベントコンサートを昼休みチャペルにて行いました。従来はカフェテリアにて昼食時に演奏していましたが、今は黙食が続くなか、一旦は取りやめも検討されましたが、先生方のアイデアでチャペルにて昼休みに開催させていただきました。クリスマスにちなんだ歌や演奏、また音楽コースの生徒はトナカイのカチューシャなどを使い、チャペルの大きなツリーの前で演奏しました。



多くの生徒たちや先生方に聴いていただき、楽しい一時を過ごすことができました。このような状況下、音楽が披露できる事に感謝する日となりました。（文責：杉町たまみ）

クリスマス献金は 133,994円となりました。 ありがとうございました。

*ささげられた献金は次の施設・団体にお送りしました。

日本聾話学校、日本キリスト教海外医療協力会、チャイルド・ファンド・ジャパン、日本キリスト教協議会、など全11団体。



31	28	22	21	20	19	17	15	10	8	7	5	
月	金	土	金	木	水	月	土	月	土	金	水	1月行事予定
高三授業終了	自宅学習日	高三音コース修了演奏会	高校一般入試	高三音コース修了演奏会	高三音コース修了演奏会	高三音コース修了演奏会	高三音コース修了演奏会	高三音コース修了演奏会	高三音コース修了演奏会	高三音コース修了演奏会	高三音コース修了演奏会	高三音コース修了演奏会



今月の聖句

「新しいぶどう酒は、新しい革袋に」（ルカによる福音書5章37-38節）

主の年2022年を迎えました。皆さんの幸せを心から願います。

気持ちも新たに、今年はこちらを目指そうといった目標や希望が見つめられたでしょうか。目まぐるしく変化する周辺環境にあって、大切にすべきものと、惑わされず避けるべきものとの見極めが、あらゆる場面で求められます。中には、これからの自分の生き方に深く関わる選択もあるでしょう。必要に応じて、周囲の信頼できる人たちの意見も参考にしながら、しっかり考えてください。新しい考え方を受け容れるときには、自分が新しくなることも必要です。大きな成長の階段を一步ずつしっかりと歩んでいきましょう。神様の祝福と豊かな支えをお祈りします。（文責：石村直義）

吹奏楽部定期演奏会

12月19日(日)、ブリックホールにて「第7回活水中学高等学校吹奏楽部定期演奏会」を開催いたしました。昨年度は部員保護者のみでの開催でしたが、今年はブリックホールの方にお客様を入れてよいとの許可をいただき、お客様がいらっしゃる嬉しい定期演奏会となりました。第1部のクラシックステージでは「広島交響楽団」所属のチューバ奏者「古本大志」さんをゲストに迎え、コンチェルトを演奏しました。また、2部はⅢ年生手作りのパート衣装に着替えポップステージを、3部はパーカッション、カラーガード、そしてマーチングを披露しました。1年間の活動がぎゅっと詰まった演奏会、なによりこの演奏会で引退するⅢ年生にとっては、多くの方達に見てもらえる事ができ、大変忘れられない1日となりました。ここに至るまで、学校の先生方をはじめ、吹奏楽部に関わっていただいた方々、保護者様、当日裏方で演奏会を支えてくださった放送部、OG・・皆さんに「感謝」の一言しかありません。これからも吹奏楽部の応援をよろしくお願いいたします。

(文責：杉町たまみ)



高川テーブルマナー講座

11月30日(火)、『ヒルトン長崎』にてテーブルマナー講座を行いました。

各自ホテル到着後からマナー講座は始まっていました。クロークで傘やコートなどを預け、会場に入ります。そして「食前の感謝の祈り」をもって食事がスタートしました。講師の先生が食事の頂き方だけではなく、1つ1つ丁寧に食器の扱い方や席を立つ際の礼儀、荷物の置く場所など常識として知っておくべき知識をたくさん教えてくださいました。心も体も満たされ、最後は「終礼」をして解散となりました。高校Ⅲ年生にとっては初めての校外活動でした。オープンしてまもない新しいホテルに普段は元気いっばいの生徒たちもこの日は終始緊張した様子でした。高校生活最後に良い思い出ができました。

(文責：常泉晶子)

〈生徒たちの感想〉

「ナブキンの置き方や最後のコーヒーを下げない理由など深い意味があることを知り驚きました。今後、結婚式や食事会などの時に今日習ったことを思い出しながら、相手に不快な思いをさせることなく自分も楽しくおいしい食事をする事ができれば良いなと思いました。」「普段、ナイフやフォークを使う時に正しい使い方がわからなくて困ったことや周りの人を頼りにしてしまうことがあったので、今日きちんと学ぶことができて、とても良い機会になりました。」「『フランス式』や『イギリス式』など作法の中でも種類があってテーブルマナーは少し難しいなと思いました。」



修学旅行説明会

12月15日(水)、高校Ⅱ年生修学旅行参加者を対象に保護者の方々もお迎えして説明会を行いました。近畿日本ツーリストの河添様や担当者から保険の内容や行程、持ち物などの説明がありました。コロナ禍で関東方面プランから県内プランへの変更になり、残念に思っていた生徒たちも説明の内容を聞きながらワクワクしてきたようです。生徒からは「楽しみです。ルールや安全対策を守りながら、いい修学旅行にしたいです。」などといった声がたくさん聞けました。説明会の様子を、AクラスはTeams、B~Dクラスはロイロノートで配信していますので、お子様とご確認ください。

(文責：五貫俊子)

スマホ講習会

12月8日(水)に高校Ⅰ年生を対象に、マツハヤコーポレーションの竹野様、松岡様をお招きしてスマホ講習会を行いました。ネット依存やネットいじめ、不確かな情報の拡散、なりすまし、個人情報漏えい、著作権・肖像権について話していただきました。途中、映像を交えたり感想を聞いたりするなど生徒は興味深く話を聞いていました。私たちは、普段から使っているスマホのトラブルについて、知っているつもりでもどこか他人事のように思っています。しかし、実際は自分の気付かない身近なところで、何の気なしでやっているSNSなどが、一歩間違えれば大きな問題になることなど、これからのスマホの使い方を考えさせる講習でした。

(文責：平野智也)

高Ⅰ、探究活動中間発表会

12月15日(水)、高Ⅰ「グループ探究活動」の中間発表会が行われました。9月から取り組み始め、初回は活水女子大学の学生とともに「長崎」をテーマに課題を設定しました。各班の設定分野は観光・医療・環境・学校・SNS・人口・伝統・食の8つに分けられました。その後、各班それぞれ、タブレットを用いて資料を集め、課題について話し合いを重ねてきました。授業後にはその日の内容を担当の大学生にTeamsで送信し、アドバイスをいただきました。今回の発表会には、大学から教員2名、学生8名が参加してくださいました。大学の古賀先生は、「どのグループも、各分野について詳細にリサーチができていたと思います。それぞれのグループで調べ方や情報のまとめ方が異なっていたため、他のグループの発表を参考にして、自分たちにも還元できるような取り組みが期待されます。」と感想を述べられていました。3月の最終発表会までに、各班がどこまで成長できるかが楽しみです。



(文責：古田雄介)

大会等成績

〈音楽〉

長崎県アンサンブルコンテスト

金賞(九州大会出場) 吹奏楽部フルート四重奏
(一瀬梨奈、東森奈菜、石本葉音、新永陽)

全日本学生音楽コンクール北九州大会 声楽部門
高校の部 奨励賞 早川綾乃

ながさき“若い芽”のコンサートオーディション
声楽部門

優秀賞ならびにコンサート出演権 田川美桜
優良賞 石田彌月 奨励賞 矢野夢果

ピアノ部門

優秀賞ならびにコンサート出演権 中武 愛佳、
奨励賞 石川奈那美・浜崎真凜

管・打楽器部門 奨励賞 中尾美玲

〈美術〉

全国地域安全運動防犯ポスターコンクール

優秀賞 森永ひまり

〈図書〉

長崎県高校総合文化祭ライブラリーフェスティバル

POPコンクール 優良賞 図書委員会

中学、特別行事

期末考査が終了した11月30日(火)、特別行事が行われました。

中学1・2年生

ペンギン水族館に行き、そのあと東望山公園で昼ご飯を食べ、体を動かしてから帰ってきました。ペンギン水族館では普段見ることのできない沢山の種類の魚や、ペンギンの餌やりを観察し、様々な種類のペンギンに生徒はくぎづけでした。東望山公園では自由にボールなどを使って体を動かしていましたが、雨が降ってきたため早めの帰校となりました。



中学3年生

茂木のAmberさんのご指導のもと、スタンドグラス製作体験をしてきました。予定していた時間は1時間でしたが、ガラス選びに思いのほか時間がかかり、2時間かけて世界に1つだけのネックレスが完成しました。



ガラス選び、テープ貼り、はんだごてを使っての製作と、体験したことのないことが出来、大満足だったようです。お天気には恵まれず、その後予定していた新体操部主催の3学年合同レクは中止となりましたが、充実した特別行事となりました。今回のプログラムは、令和3年度『長崎市子ども農山漁村交流体験』ということで、長崎市からの支援(経費負担)で実現しました。

(文責：奥田牧子)

〈放送〉

全九州高等学校総合文化祭長崎大会放送部門
兼九州高校放送コンテスト長崎大会

アナウンス部門 入賞 渡辺あい

*「長崎大会」とは長崎で実施された九州大会のことです。

〈バレーボール〉

U18ビーチバレーボール佐賀大会女子の部

第3位 谷口音・馬場彩渚

長崎県リフトバレーボールフェスティバル レディース・フリーの部

下位トーナメントの部

優勝 活水Aチーム 準優勝 活水Bチーム

〈その他のコンテスト・コンクール〉

高校生条例案コンテスト

優秀賞 お題解決同好会(大嶽礼生、瀬川凜香)

高校生英語プレゼンテーションコンテスト

3位 濱向日葵

いっしょに読もう!新聞コンクール

奨励賞 田川美桜

〈資格試験〉

TOEICテスト700点以上表彰

小畑なつ、坂田梨菜子、高橋燈由

(文責：山口真樹人)